

**A** 経済環境部長 全国に発信しようと、3月2日から5

日にかけ「FOOD EX JAPAN」が幕張メッセで開催され、そこにイチゴ酢やイチゴソース、米粉関係の展示、米粉パンの試食・太巻き寿司の実演・試食、さらにモツルの試食を、二つのブースに分けて山武市としてPRしていきます。

**Q** 若者が積極的に参加し、活気あふれるイベントが市の活性化につながると思うが、山武市としてどう考えているか。

**A** 市長 大々的なものではなく、旧蓮沼村から引き継ぎましたサマーカーニバルですが、若い人となりますと、むしろ、文化会館での、バンドをやっている人たちの行事など、それぞれの工夫の中で行っているところだと思います。方式としては実行委員会方式で、皆さんが企画から参加していただくイベントが組まれています。地域の活性化ということで、さらに盛り上がる企画が実行されればよいと思います。

**Q** 今後、山武市に若い人たちが中心に楽しみ、集まれるようなイベントを模索中だということを青年層から聞きましたが、市としても若い人が盛り上がるよう予算面でも積極的に応援していただきたいかがか。

**A** 市長 予算面で無駄を省くことは続けていきますが、地域の活性化のために予算をつけるということは、私の立場からは、賛成です。しっかりと考えてまいります。

**Q** 市民体育祭の目的は何か、その目的は達成されているのか。

**A** 教育部長 スポーツを通じて市民の健康増進と、心豊かな明るい社会づくりに寄与することであり、支部活動費ということで一支部50万円の支援をすることになっていますが、支部活動にはいたっておりません。

**Q** 予算をつけただけでは小学校区での活動は出来るものではないですね。体育協会や職員の積極的な指導が必要と思うが。

**A** 教育部長 体育行事は、地域コミュニティと活性化をねらっています。合併当初から、旧四町村が一体になろうというムード作りを優先してきましたが、出来るだけ地域の活性化、地域コミュニティにつなげていきたいと考えています。組織の立ち上げから、運営の仕方等々、指導、援助をしていかなければならないと思っています。

**Q** ●人口減少についての対策  
山武市には、駅が3つあります。日向、成東、松尾ど

の駅も乗客数が山武市の人口の減少と比例しています。合併前からホームの延伸の話がありましたが、断ち切れ状態です。今後3つの駅をどう考えているのか。

**A** 市長 毎年JR千葉支社に陳情を重ねていますが、快速を含めた全列車の本数の増加が見込めないところです。JRとしては、現状で機能的には十分役割を果たしているという判断です。3つの駅がそれぞれコミュニティの役割を果たすという意味で、駅周辺のアメニティの向上について、さまざまな方向からバランスよく行政の目標として掲げていきたいと思っています。

**Q** 雇用対策は、若い人がこの地に残る一番大きい問題だと思います。市としての対策は。

**A** 経済環境部長 効率的な雇用就業機会の創出を図るため、ふるさと雇用再生特別基金事業及び緊急雇用創出事業を活用し、補正予算計上しました。

3年間の予算総額約2億3千400万円、雇用者数114名を見込んでいます。また、2月16日に、商工会の協力を受け、求人面接会を実施いたしました。さらに、定年帰農者を含めて、新規就農者、農業従事者が就農に必要な知識や技術を習得するため、県主催の研修に14名が受

講し、その内4名が新規就農者となりました。

**Q** 昨年の自殺者は暫定値で3万2753人と、前年より504人増え、千葉県もワースト7であり、その中でも山武の死亡率が高いということでした。山武市の現状は。

**A** 保健福祉部長 山武市独自のデータは持っていませんが、15年から19年の5年間の自殺率は男性で県下ワースト5位、女性で県下ワースト1位となっています。

**Q** 山武市としての取り組みは。保健福祉部長 健康増進計画を作り、今後は行動計画を持って、心のケアネットワークを立ち上げて対策を図りたいと考えています。県も、従来や

っていましたが、改めまして、市町村との連携を深めて、県の自殺対策推進計画を策定し、総合的に取り組むことになっていきます。

●市所有資産の活用について

**Q** 合併して4年、組織統合され使用されていない施設や余裕が出ている施設はどのくらいあるのか。

**A** 総務部長 建物、土地を含め整理したデータは持っていません。土地については、財産台帳の整備を進め、年度内に

は台帳整備が終了します。建物につきましては、特に危険なものには壊し、使用できるものは使っています。山武の議場棟、松尾給食センター、土地改良区に貸し出していた建物などは、取り壊し、松尾給食センターの跡地は運動公園の駐車場として有効利用いたします。旧蓮沼村の給食センターは、米粉の製造プラントとして使用しています。

**Q** 日向の森の利用計画で、委員会を設置し、土地利用基本計画策定を取り組むとあったが、その後、どうなっているのか。

**A** 総務部長 日向の森につきましては、45万平方メートルを超える広大な土地です。環境と調和した自然を生かした土地利用を図るという流れの中で現在進めています。地元の意向や開発需要を把握し、実現の可能性を今後十分検証しながら進めていくよう、日向の森土地利用検討調査業務を委託して進めています。庁内においても検討会議を設置し、また地元地域の審議会や地元区長さん方との話し合いの場を設けご意見を伺うなど、調査結果も見ながら、土地利用の方向性を見定めていきたいと思っています。